



NPO法人

日本動物愛護福祉協会
高崎アニマルランド

～動物と人間が共に仲よく暮らせる社会をめざして～

寒気の中、日本の街を彩るイルミネーションはキラキラとした輝き美しく人の目を楽しませています。その陰にいる優しい心を持つ動物たちの生き方について考えてみましょう。

13年間ボランティアで動物に係わって参りました。「子犬・子猫はかわいい」と子どもの言うままに家族となった動物は悲劇に見舞われることが多いです。家族でほしい動物を直接見て性質・健康状態を見極めたうえ、飼育に必要な知識を得て、動物の一生を責任持って飼えるかをよく相談してください。平成13年に財団法人日本動物愛護協会として立ち上げた時は、1年で1万匹以上の動物たちが殺処分され犠牲となりました。「病気になったから」、「お金がかかるから」、「大変、面倒」と安易な気持ちで動物を保健所に連れて行く飼い主にいつも怒りを感じていました。

◇動物愛護管理法の改正

平成25年9月より、動物の愛護及び管理に関する法律が改正されました。脚を切断されても生きようとする犬、散歩の楽しささえ知らずただ餌と水を与えられるのみで愛情を受けたこともない…そんな可哀想な状況でも飼い主を慕う動物たちに心が痛みます。動物にとって「愛護」とは家族の一員として平等に生きることです。無責任な飼育、虐待に対して今後、行政の罰則が強化されることについては評価します。しかし飼い主の高齢化や病気などにより、どうしても飼えなくなった場

合は自分で新たな飼い主を探す努力が求められており、なかなか難しい問題です。

◇電話相談

「犬猫の一生」を考える会として、電話による動物相談を毎週土日の10:00～16:00に受け付けています。(070-5545-1127)

電話相談の事例を二つお話しします。

- ①『飼育できなくなった動物はどうしたらよいのか?』『無責任な理由での引き取りは拒否します。可愛い子猫の頃を思い出してください。初心を忘れませんか?新聞、知人、近隣などにねこちゃんの新しい飼い主を探す努力をすることです。またお電話下さいね』
- ②『突然入院することになったが家族がいないので、飼い猫を行政に頼んだが拒否された。どうしたらいいのか。私は76歳で猫が生き甲斐。この子と別れるのは身を切られる思いです』『あなたは大好きな猫のために努力をしましたか?』…この方は、長年飼っている猫を殺処分することも考え覚悟のことと思いますが、これからはこのような相談に応えられる受け皿が必要としみじみ考えさせられました。

◇飼い主と犬が共に楽しく暮らすために

ご近所の皆様に犬を飼ったことへの理解をお願いすることはマナー・ルールです。また

犬に良いしつけと訓練をすることが、飼い主と犬が社会で共に楽しく暮らすための必要最低限です。子犬から飼う場合には、犬のふれあい教室などに参加して犬社会の社会性を身につけることも重要です。犬は褒められるのが何よりの喜びなので、訓練により飼い主との絆がより一層深まります。種類によって多少差はありますが、12歳より老犬と呼びます。健康管理、清潔な環境、ストレスを与えないことで長生きをさせられると思います。

◇悲しい現実—管理センターにて—

遠くから聞こえる天を突くように吠える声は何かを感じて必死に訴えているようです。動物管理センターに輸送車がや

って来ました。その狭い檻の中で体をブルブル震わせている子、

うずくまっておびえている子、よく見れば犬たちの大半は首輪をしています。ここで彼らは炭酸ガスにより苦しんで死んでいくのです。「まあ、なんてかわいい」。みんなそう言われて家族の一員として迎えられたはずです。人間を信じていた彼らの今までは一体何だったのでしょか。動物は基本的に人間を裏切りません。日々の世話や朝夕の散歩の手間…、人間は身勝手な理由で何の罪もない犬猫たちをゴミのように捨てるのです。動物を飼うのに欠かせない不妊・去勢手術について関心のない人もたくさんいます。人間たちがほんの



この子たちにも名前がありました。この子たちは最後まで飼い主を信じていました。この子たちはもういません。

少しの愛と思いやりを彼らに注いでくれたら…。この次に生まれて来る時は幸せな星のもとに…そう祈る以外にありません。

◇猫たちの困難な状況

もしも飼い猫と一緒に暮らせない事情になった時に、信頼できる新しい飼い主を探すことは容易なことではありません。また、外暮らしの猫から生まれて悲惨な状態に苦しむ子猫たちのことなど困難な問題に対して、安楽死は大切な選択肢の一つと考えられています。平成14年に全国の行政機関で殺処分さ

れた猫の数は約26万匹で、近年この数はほとんど減少していません。アニマルランドでは、不幸な猫を増やさないために、不妊・去勢手術をはじめ適正な飼い方を広める努力をしています。しかし、依然

として捨てられる猫が多く、辛い現実には直面せざるをえません。

◇“福祉”の協会に生まれ変わって

財団法人時代の13年間で6千匹以上の命を救えたことは、皆様のお力と思っています。平成25年7月に「NPO法人日本動物愛護福祉協会」を立ち上げ、福祉に重点を置いて生まれ変わりました。捨てられた動物に不妊・去勢手術を施す活動をから始めています。公園にいる野良猫の手術を9月に始め、12月には40匹。次の手術は3月に行う予定です。静かに動き始めました。

今後とも皆様のご協力をお願いします。

NPO法人日本動物愛護福祉協会
支援クラブ 石井文子(平成22年度環境省動物愛護管理功労者大臣表彰を受賞)

NPO法人 日本動物愛護福祉協会 高崎アニマルランド 理事長 石井悦巳
〒370-0043 群馬県高崎市高関町 443 TEL: 027-345-6331 FAX: 027-345-6332
月曜日～金曜日(火曜定休) 10:00～16:00 譲渡会/毎週土日 10:00～15:00
MAIL: animal-land@dan.wind.ne.jp URL: http://animalland-gunma.com/